



学校だよりNO18

令和4年9月9日

児童数 483人

薫っ子 II



文責 校長 古川 次男

合唱部 大活躍

本校には、4年生以上で組織する特設部活動があります。体育・合唱・合奏の3つの特設部活動があり、放課後を中心に練習に励んでいます。

令和元年度より新型コロナウイルス感染症のために、その活動を縮小せざるを得ない状況にあり、めざす大会も縮小傾向にありました。大会参加をめざして練習に取り組んできた児童にとっては、とつともつらい時期を送ってきました。しかし、コロナ禍も3年目を迎え、徐々にではありますが、元の活動ができるようになってきました。

9月3日には、合唱部のみなさんは「わくわくフェスタ」に招かれて、郡山駅前西口広場等で、その歌声を披露してきました。当初は、本校をはじめいくつかの学校も参加する予定でしたが、市内の小学校では本校だけの参加となりました。（主催者からは、「コロナ禍の中、参加いただいてとてもありがたいことです。」と、ねぎらいの言葉をいただきました。）

たくさんのお客さんや家族が構えるビデオカメラを前に緊張していた合唱部のみなさんも、曲が進むにつれて表情豊かに素晴らしいハーモニーを聞かせてくれました。コンクールでの緊張感とは、一味違った「楽しませたい。」という薫っ子の思いのこもった歌声でした。



そして、9月7日。合唱部のみなさんは、郡山市で準備してくれた大型バスに乗り、いわき市のアリオスへ向かいました。そうです。県大会の本番へ向けての出発でした。夏休み中の市の合唱祭を経て、県大会へと進んだ合唱部のみなさんは、夏休み中ではあったけれども、合唱一筋という思いで練習に取り組んできたことと思います。

7時前に登校してきた合唱部のみなさんは、体育館でいつものようにウォーミングアップアップ開始。一人一人がやるべきことを分かっている、スムーズに練習に入れるということは、それだけ力がついているという証拠だと思っています。

バス乗車後も、課題曲や自由曲の音源に合わせてハミングし、ミニリハーサル。ほどよい緊張感を持ちながら、アリオスへ。会場では、「受付から待機、そしてリハーサル」と他校との接触がないよう事務局の先生方が感染対策に気を使って、案内してくださいました。そして、立派なホールでの合唱。袖で聞いていても「上手になったな〜。」と思わず感想が漏れてしまうほどでした。

「金賞・優秀賞」という立派な成績は、これまで取り組んできた合唱部のみなさんへのご褒美だと思います。おめでとう。合唱部。

